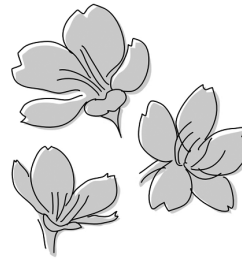


# 農業



令和5年3月号  
会誌 No. 1701

## 目次

### 巻頭言

冷たい話……………馬場 正 3

### 論壇

12代目の農家が営農地を移転……………首藤 元嘉 4  
—農家でも移住はありではないか—

### 農事功績者表彰

大日本農会北米・南加支会 第106回大日本農会農事功績者表彰伝達式… 6

### 農業懇話会

山形大学が取り組む庄内スマート・テロワール構想……………浦川 修司 7

### 農事功績者座談会

豪雪被害を乗り越え、直売所の共同出荷や端境期対策で  
持続可能な都市型野菜経営を実現……………馬場 敏明 22  
現地指導者のコメント……………山岸 明 29  
意見交換…………… 30

### 食を楽しむ

人生を大きく変えた、摩訶不思議な日本酒の話……………山内 聖子 37

### 研究の最前線

ヒューマンディメンションと野生動物管理……………桜井 良 38  
—人と動物が共存する地域づくりを目指して—

**農業・農村の現場から**

カンキツの「サードウェーブ」を考える……………清原 優太 48

**世界の農業は今**

スウェーデンの学校給食と食育……………中澤 弥子 54

**私の経営と志**

青森県藤崎町で水稲・リンゴ・ニンニクの複合経営……………奈良岡拓志 60  
一見渡す農地は私のもの一

**農家の気持ち**

日本の農業をカッコよく！……………鈴木 啓之 62

**東京農業大学収穫祭から（Ⅱ）**

第三者継承がつなぐ日本農業のこれから……………農友会 村の会部 63

**農政情報**

…………… 67

大日本農会だより…………… 68

編集部から…………… 68

会誌『農業』に関するアンケート

**表紙写真説明**

**トキと共生する佐渡の里山（新潟県佐渡市）**

新潟県佐渡市は、新潟県の沖合約35km北西の日本海側に位置する一島一市の離島であり、国の特別天然記念物であるトキの野生復帰に取り組み約500羽が水田などで餌をとる風景が復活しています。2011年6月には、トキとの共生を目指し、田んぼの生態系に配慮した「生きものを育む農法」の取り組みや棚田などの美しい景観、昔から受け継がれている伝統的な農文化が評価され、世界農業遺産に認定されました。

佐渡の主要作物は水稲であり、その中でもトキとの共生をめざした取り組み「<sup>と</sup>朱鷺と暮らす郷づくり認証制度」が約2割の水田で行われています。

この制度は、農薬や化学肥料を5割以上削減し、畦畔での除草剤不使用、江（溝）の設置やふゆみずたんぼ（冬期湛水）など「<sup>けいはん</sup>生きものを育む農法」を行った水田を認証しています。

このような取り組みを行ったお米は、商品名「朱鷺と暮らす郷」として首都圏を中心とした米穀店などで販売されています。

（写真および文：佐渡市農林水産部農業政策課トキ・里山振興係 池田 一男）